

単元の流れ	授業デザイン	評価規準/評価方法
<p><b>2けた÷2けたの計算はどうやってやればいいのか？①②③</b></p> <p>◎何十÷何十のわり算の解き方を理解する。</p> <p>◎単元の見直しをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・0を考えないで計算すればやりやすいよ。</li> <li>・10のまとまりで考えると解きやすいよ。</li> <li>・ただの2けたじゃなくて、キリのいい2けたの計算だよ。</li> <li>・あまりが出てもこれまでと一緒に計算できるのかな？</li> </ul> <p>◎既習事項をいかし、余りのある計算に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の問題はあまりが出そうだね。</li> <li>・80÷20と同じように考えられるね。</li> <li>・8÷3と同じように計算できるけど、あまりはどうなるのかな？</li> <li>・あまりも10のまとまりで考えなきゃいけないだね。</li> </ul> <p>◎2けたでわるわり算に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は2けた÷2けただけど、一の位にも数字があるよ。</li> <li>・80÷20と同じように計算すると大体4だね。</li> <li>・筆算ができたならわかりやすいのに…。</li> <li>・筆算でたしかめたいな。</li> </ul>	<p><b>手立てや概念</b> 8÷2という簡単な計算ができれば、80÷20も解けることをおさえるとともに、わり算ができることへの意欲につなげる</p> <p><b>手立てや概念</b> 既習事項をもとにすれば求められることをおさえる。</p> <p><b>自己調整</b> ふり返りを活用し、その日に何が分かったのか、次時への見通しがもてるようにする。</p> <p><b>響き合う</b> 話し合いの素地を整える。 ・使えた話型への価値づけ ・友達の考えからつなげて発言するという意識。 ・発言に対する反応の徹底</p>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10を単位として計算した見方を用いて計算ができた、余りが求められたりできる。</li> </ul>
<p><b>商をたててかけたら大きくなっちゃった。どうしよう？④</b></p> <p>◎仮商の修正のしかたを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見当をつけて計算したら一の位がこえちゃいそう。</li> <li>・前と同じようにやったら数が大きくなっちゃった。</li> <li>・商を一回直せば計算ができるんだ。</li> </ul>	<p><b>手立てや概念</b> 次時への学習に繋げるために、計算の見積もりをすることの大切さを丁寧におさえる。</p>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮商を修正し、正しい商を求める手順を理解している。</li> </ul>
<p><b>見当がずれちゃった。どうしよう？⑤(修正2) 本時</b></p> <p>◎仮商が大きすぎたとき、小さすぎたときの筆算のしかたを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・60÷10で見当をつけたら商は6になるよ。</li> <li>・70÷20で見当をつけたら商は3になるよ。</li> <li>・見当がずれちゃった…どうしよう？</li> <li>・商が大きすぎたら小さくしていけばいいんだね。</li> <li>・商が小さすぎたら大きくしていけばいいんだね。</li> <li>・これならどんな筆算が出て解けそう。</li> </ul>	<p><b>自己調整</b> 学習内容を振り返り、商の見当をつけることで大きな数の計算も見当をつけて求めることができるようにする。</p> <p><b>高め合う</b> ・見当をつける商の求め方が互いに説明できる。 ・見当が大きすぎた場合、見当を小さくしていく解法を自分で見つけ出し、伝えることができる。</p>	<p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮商を修正していく方法について理解し、説明できる。</li> </ul>
<p><b>3けた÷2けたの計算ってどうやればいいのか？⑥⑦</b></p> <p>◎3位数÷2位数の筆算に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見当をつければ簡単にできそうだな。</li> <li>・今日の問題は、商が一の位にたちそうだな。</li> <li>・商が十の位まであったらできるかな？</li> </ul> <p>◎3位数÷2位数=2位数の計算に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日はパターンが変わってるね。</li> <li>・商が10の位にも立ちそうだな。</li> <li>・数が大きくなっても筆算のやり方は変わらないね。</li> <li>・商が2けたになってもできた。</li> </ul>	<p><b>手立てや概念</b> 3位数÷2位数の筆算の解き方が既習事項を用いて解くことができるようにおさえる。</p> <p><b>自己調整</b> これまでの解き方を用いて、同じように計算することで、商が2けたになっても計算できるようにする。</p>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮商を立てたり、仮商を修正したりしながら、正確に除法の計算ができる。</li> </ul>
<p><b>一の位に数が入らないときはどうすればいいのか？⑧</b></p> <p>◎商の一の位に0が立つ筆算ができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見当をつけたら一の位に数が入らないな。</li> <li>・数がない時は0を使えばいいんだよ。</li> <li>・商に0があると難しいな。</li> <li>・商が2けたでも計算ができたなら数が大きくなっても筆算で解くことができそう。</li> </ul>	<p><b>響き合う</b> 既習の筆算の解き方を用いることで、空位のある計算もできることを理解する。また、空位のある筆算のやり方について説明しあう。</p>	<p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・除数が3位数の場合は、100を単位として考えて仮商をたて、同じ手順で計算できると考えている。</li> </ul>
<p><b>3けたの筆算ってどうやればいいのか？⑨</b></p> <p>◎3位数÷3位数=1位数の筆算ができるようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数が大きくなってもこれまでと同じように解くことができるね。</li> <li>・筆算が完璧にできるようになったよ。</li> </ul>	<p><b>自己調整</b> これまでの学習を振り返り、数が大きくなってもわり算の筆算が計算できるようにする。</p>	<p><b>【主体的な態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・除法に成り立つきまりを用いて、計算を簡単にする工夫を考えようとしている。</li> </ul>
<p><b>数が大きくなっても計算することができるのかな？⑩</b></p> <p>◎24000÷300をわり算のきまりを使って、工夫して計算する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・0を考えないで計算するとわかりやすいよ。</li> <li>・240÷3と同じ計算の仕方だね。</li> </ul>	<p><b>自己調整</b> 0のつく計算でも240÷3をもとにして計算することで、商が求められるようにする。</p>	<p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉や図を手がかりにして、乗法や除法の適用場面を考えている。</li> </ul>
<p><b>小単元5「どんな式になるかな」⑪</b></p> <p>様々な場面を立式しよう</p> <p>◎あらゆる場面を図や言葉を用いて、式に表そう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図に表すと式が求められるね。</li> <li>・数直線も使ってみよう。</li> </ul>	<p><b>手立てや概念</b> 後の学年でも同じような考え方ができるように工夫して計算できることをおさえる。</p> <p><b>高め合う</b> 除法のやり方を理解したうえで、問題文から除法の手掛かりを自ら見付け、立式できるようにする。また、その根拠について説明できるようにする。</p>	<p><b>【主体的な態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の内容を理解し、自ら問題に取り組もうとしたり、答えを導き出そうとしたりしている。</li> </ul>
<p><b>単元の練習問題に取り組もう。⑫</b></p> <p>◎練習問題に取り組み、理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでできなかった筆算ができるようになったよ。</li> </ul>	<p><b>自己調整</b> 既習の内容を生かし、自ら計算をすることができるようにする。また、単元を振り返り、自分が得た力を実感できるようにする。</p>	<p><b>【主体的な態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の内容を理解し、自ら問題に取り組もうとしたり、答えを導き出そうとしたりしている。</li> </ul>

願う子どもの姿

- ・「問い」に対して、自分の考えをもち、それを説明できる姿。
- ・自分で考えた解法を見つけ出し、友達に伝えられる姿。
- ・友達の考え方を聴いて、そのよさに気づく姿。
- ・単元で学んだ学習を自分の日常生活に役立てようとする姿。